



実施報告⑥ 小中学校教員研修「海の生物に学ぶ生物の多様性」 一般社団法人 葛西臨海・環境教育フォーラム 宮嶋 隆行

1 プログラムの概要とねらい

東京都八王子市立小中学校教員 30 名を対象に、海の生物多様性をテーマに研修会を実施した。

本研修のねらいは以下のとおりである。

- ・八王子市の教員の指導力向上を目的に、葛西臨海たんけん隊の主たる活動領域である海洋教育についての知見を提供する。
- ・海洋教育の必要性を伝えることで、受講した教員に授業の中で海洋教育を取り入れるきっかけを与える。

- ・チリメンモンスター実習を体験してもらうことにより、「海の生物多様性」においても気軽に海洋教育に取り組めることを知ってもらう。
- ・本実習が実践可能な学習指導要領における位置づけを明示し、年間の指導計画にどのように組み込むことができるかについてモデルを提示することで、単なる課外授業で終わることのないようにする。
- ・海洋教育の授業を葛西臨海たんけん隊や日本財団がサポートしていることを知ってもらい、海洋教育導入にあたってサポートが可能であることを理解してもらう。

2 研修の流れ

① 海洋生物とは何か

まず、今回の研修会を主催する一般社団法人葛西臨海・環境教育フォーラムが実施している活動について紹介を行った。その後、海洋教育の定義および学校教育の現場で海洋に関する教育を行うことの意義について説明をした。その際、四方を海に囲まれた海洋国家である日本とそこにすむ日本人の生活には海が必要不可欠であること、八王子市は海に直接面していないが、山と川を通じて海とつながっていることについても合わせて解説を行った（図 4-32）。

② アイスブレイク

本研修は、ワークショップ形式の講義であるため、まず初めに受講生同士がお互いを知り、コミュニケーションをとりやすい雰囲気をつくるためにアイスブレイクを行った。アイスブレイクでは「イワシ」、「マグロ」など海にすむ生き物の名前を掲げ、自分が属すると思ったところに集まり、「なぜそう思ったのか」について受講生同士で意見交換を行った（図 4-33）。さらに、海についてのごく簡単なクイズなども実施した。

③ チリメンモンスターさがし

チリメンモンスター(チリモン)実習について概要を紹介し、合わせてプランクトンについての説明も行った。その後、実際に試料を配布し、どんな種類の生き物が入っているかをルーペとピンセットを使って各自観察した。

続いて、班ごとにチリモンが親になるとどのような姿になるかを示したシートを配布し、見つかった中で珍しい種については、東邦大学名誉教授の風呂田利夫先生に解説をしていただいた（図 4-34）。



図 4-32



図 4-33



図 4-34

④ 分類作業

見つけたチリモンは各自でルールを決めグループ分けをした後、いろいろなチリモンの名前を記した「生き物カード」を配布。見つけたチリモンの同定を行い、それぞれがどのような関係にあるのかを矢印を使って図示した（図 4-35）。その際のルールは各自で自由に考えてもらったが、「食う、食われるの関係」、「大人と子どもの関係」でまとめるチームが多く見られた。

⑤「海の中の生き物」と「人間」の関わりについて

受講者同士で作成した「海の生き物同士の関係」に「人間」がどのように関わりあっているかについて、風呂田先生、インタープリターの小川結希さんにより、普段の私たちの食資源と人間活動との 2 つの視点から説明をしていただいた（図 4-36）。

⑥ 指導計画への反映方法

次に、八王子市立由井中学校長（実施当時）の和田薫先生より、チリメンモンスター実習を具体例として今後海洋教育の導入にあたり、学習指導要領上の位置づけについて説明をいただいた。続いて、実際に葛西臨海たんけん隊が行った出前授業について、具体的にどのような教科のどの単元に関連づけて本実習を行ったかについても合わせて説明を行った。

⑦ 議論

最後に、学校現場への海洋教育の導入にあたっての課題などを各自の立場から書き出してもらい、グループ毎に意見交換を行った。それをふまえて最後にアンケートを実施し、実際の導入意向や具体的な課題などについて議論した。



図 4-35



図 4-36

3 研修の成果と評価

海のない都市である八王子市において、海洋教育に対する具体的なイメージを持つ教員は多くないことから、その端緒として機能したと考える。実際に、本研修に参加した教員が属する小学校で、今年度に海洋教育を導入した事例もある。

アンケートの結果

1. 受講生の所属

中学校 20 小学校 10

2. 受講した結果海洋教育に関心を持ったか

とても 24 まあまあ 6 それほど 0 まったく 0

3. 海洋教育を導入してみたいか（複数回答可）

今年度導入したい 4 ※導入済み 1 校含む

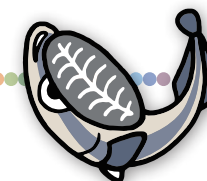
将来的には可能性がある 19

内容による 12

関心はあるが難しい 6

関心はあるが管理職次第 4

自分の意向が反映されるならば 3



自由回答の一部

- ・中学理科において陸上生物を教材として扱うことは多いが、海洋生物をテーマにした単元はあまりないので、自分のこれからの授業で扱っていききたい。
- ・今回のチリモンの観察からわかるように、海洋の生物には奇妙なものが多く、海洋教育を導入すれば興味を持つ児童・生徒は多いと思う。
- ・チリモンは楽しく学べるが、時間の問題とただのお楽しみ授業にならないよう、学習内容にどう組み込むか考えていきたい。
- ・総合の食育として扱いたい。教科書の食物連鎖ピラミッドだけではイマイチ実感のわきにくい食と人のつながりについて、身近なものを使って行えるのがよい。

